

## 目指せ！時計マスター！

第1Qの算数で学習した「時刻と時間」ですが、2年生の内容の中でとてもつまづきの多い単元になっています。

成長するにつれて、誰でもアナログ時計を読んだり時間感覚を身に付けたりすることはできます。しかし、3年生の「時刻と時間」が、かなり難しい内容であることや、6年生で「20分は $1/3$ 時間」などの分数への繋がりを考えると、アナログ時計をしっかりと読めるようになり、量として時間を捉えられるようになることがとても大切です。

今回は、アナログ時計を自然と読めるようになる環境作りについてお伝えいたします。

### アナログ時計とデジタル時計、それぞれのすぐれた点は？

デジタル時計は、時刻を瞬時に理解できるところ、時間を計算しやすいところがすぐれています。「今何時？」「何時何分で終わる」といった使い方に向いています。

アナログ時計は、時間を視覚的に理解できるところがすぐれています。「どれくらい時間がたったかな？」「あと15分ってどれくらいできるんだろう？」を視覚的に理解しやすくなっています。

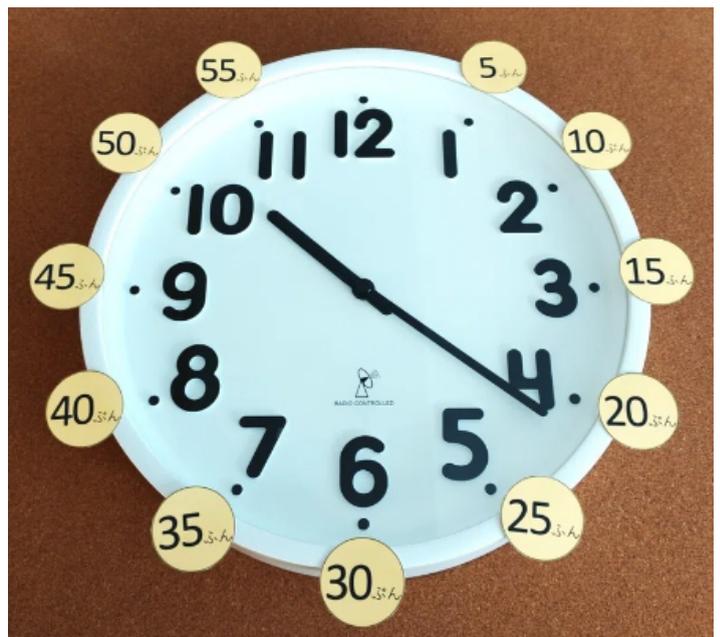
## 家の掛け時計は5分ごとの表記

右の写真のように、紙で5分ごとの表記を貼ると、分針を読みやすくなります。

アナログ時計を読みたがらない子は、「分からない」⇒「面倒くさい」⇒「読みたくない」という子が多いので、読みやすくする工夫があると、嫌がらず読むようになります。

慣れの部分も大きいので、何度も読んでいくうちに、苦勞せずに読めるようになります。慣れたら少しずつ外していくと、成長を実感することができます。

また、毎日目にすることで、「下の6が30分」「3は15分で、9は45分」など時計を等分できるようになり、分数の感覚も身につけていきます。



【紙で5分ごとの表記を時計の縁に貼る】

## 腕時計を身に付ける

アナログの腕時計を身に付けていると、時計を読んだり時計の問題を解いたりする力が自然とつきます。

ある先生が、クラス全員分のアナログの腕時計を用意して、学校にいる間は常に身に付けるようにさせたところ、全員ものすごく時計に強くなったそうです。

時間の感覚も身に付くのでこれはおすすめの方法です。

右の腕時計は、ある保護者の方に教えてもらった時計です。見ればみるほど工夫が見つかり惚れ惚れしました。

アナログ時計には、読むのが難しいポイントがいくつかありますが、それぞれの対策がしっかりとされています。



【キッズ 知育腕時計】

- ・ 針に読み方が書かれている。
- ・ 分針の表記が全てあり、5分おきに色が強調されている。
- ・ 時針を読み間違えないように、色分けされている。
- ・ 13時～24時、0時の表記がある。
- ・ 針先が四角く、分の枠とちょうど重なる。

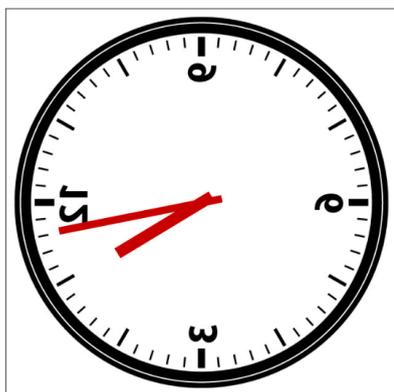
など、工夫が随所になされています。こういった工夫がある時計から、よりシンプルなものへと移行していくと、非常に有効に時計の学習に繋がることでしょう。

### 腕時計にまつわる失敗談

私が教員として働き始めてすぐのことです。実家に帰った際に、姪（3年生）が時計を読むのが苦手だということを知り、アナログの腕時計をプレゼントしようと考えました。きっと喜んでくれる上に勉強にもなるだろうと思いながら、「腕時計買ってあげるよ」と姪に言うと、「いらない」と即答されてしまいました。

今考えると、「これを受け取ると嫌いな時計の勉強をしなければいけないのでは？」と、嫌な雰囲気を感じとったのでしょう。

時計を読めるようになり、自信をもち始めたタイミングであげるべきでした。何事もタイミングは重要ですね。



### 「時計 難問」で検索すると・・・

次のような鏡時計の問題は、思考力を鍛えるよいトレーニングになります。

紙もえんぴつもなしで、タブレットやスマートフォンを見せれば、問題に取り組めるので、時計がばっちり読める子は、こういった問題もおすすめです。

類題もたくさんあるので、ぜひ検索してみてください。